

子どもたちが、故郷で健やかに育っていくために!

敦賀市議会議員

豊田こういち レター

Vol.6

リラ・ポートのゆくえは…

平成14年に約36億円を投じて建設した、敦賀きらめき温泉リラ・ポートの営業が令和2年2月5日をもって停止されました。市民の健康増進や観光振興に大いに貢献してきた施設だけに残念でありませんが、2か月経った現在も再開の目処は立っていません。

なぜ、リラ・ポートは休業することになったのか?

年間15万人以上の人たちが利用するリラ・ポート。オープン当初は敦賀市が運営していましたが、その後指定管理方式で運営することになり**何度も指定管理者は変更**されました。そんな中、現在の指定管理者である(株)浜名湖グラウンド・ゴルフパーク(以下、浜名湖)は契約期間中に休業を決意しましたが、その理由は、「**敦賀市との協議が不調のため**(リラ・ポートのホームページより引用)」と釈然としません。

リラ・ポートの再開に向けて!!

市民の皆様のための施設を休業に追い込んでしまったことに、市議会議員として責任を感じています。なんとかしたい!という思いで、リラ・ポートが休業して1週間後の2月12日に山口県下関市にある水族館「海響館」を訪問しました。海響館の管理運営は、指定管理者である公益財団法人・下関海洋科学アカデミーです。指定管理の状況は、収支だけでみると1億3千万円の赤字です。そして、総入館者数は平成13年度に140万人を超えていたものが、平成30年度には61万人に大幅減少。そんな厳しい状況であっても**指定管理者と行政が常にコミュニケーションを取る**ことで、状況を打開しようとしています。現在、**指定管理料の削減や制度変更の検討**を行っているということでした。今後のリラ・ポートの運営においても厳しい状況を打開するために、**市議会も含めて指定管理者と行政が現状を打開するよう取り組む**ことが重要です。

私の考え!!

議会から市へ、今後の再発防止を図り浜名湖と真摯に向き合い、早期の再開と運営継続ができるよう対応を求めています。市は浜名湖が多額の入湯税を滞納していることに加え、現状の収入に見合った事業展開を行わないこと等を指摘しています。しかし、浜名湖は再開には5千万円が必要であると多額の予算を要求していて、交渉は平行線のままです。また、浜名湖及び前指定管理会社は、取引先への支払いも滞っていて多くの市内事業者へ未だ大きな負担をかけています。このように、再開するには、市の真摯な対応だけでなく多額の税金投入が必要になります。そのためには、まず税金の無駄使いを改める(詳細は裏面)ことが重要で、しっかり誠意を示したうえで市民の理解を得ることが最優先だと考えます。



1 住みたくなるまち敦賀について

- (1) 人口減少対策 (2) 医療現場での取り組み (3) 福祉・教育現場での取り組み

令和2年度の当初予算編成においては、建設中の市役所や新敦賀ムゼウムの整備事業等の大規模プロジェクトの建設費や維持管理の増加により、財政の硬直化及び財源不足が危惧されています。そんな中、第1子の出産に対して一律10万円を支給する事業(計2,000万円)及び移住者に対して100万円を支給するといったバラマキともとれる事業の予算や、市長たちがポーランド等を訪問するための旅費を含む予算1,080万円が計上されました。市は財政健全性の確保に向けた取り組みを推進すると言っていますが、以下に示すように過去最も高かった令和元年度より6.1パーセント多い予算を計上、議会に提出されました。

全会計の当初予算規模(令和2年度は1位)

1位	令和2年度	652億6,705万円
2位	令和元年度	615億3,533万円(6月補正後)
3位	平成13年度	610億1,128万円
		市債残高 538億1,128万円

無駄使いを改め、目の前の問題に
真摯に取り組むべきです!!

第1子出産応援手当支給費

敦賀市内のお母さんたちに「10万円もらえたら子どもを産もうと思いますか?」との質問をしたところ、お母さんたちは、**全員NO**というお答えでした。お母さんたちからは、そのお金を**市立敦賀病院の産婦人科や小児科の整備**、お子さんが欲しくてもなかなか授かることができない方のために、**不妊治療に対する補助を手厚くして欲しい**、そのほうが人口減少対策につながるのではないか、といったご意見を聴かせていただきました。

移住定住促進事業費

関西や中京地方の移住者に対して最大100万円もの大金を出すための予算が計上されましたので、移住者に対して多額の税金を提供する必要性について審議させていただきました。また、以前から反対している新敦賀ムゼウムに多額の予算を投入することで、「優しい日本人がいたまち敦賀」を証明するのなら、全国から**障がいのある人たちの移住を推進**するよう提言しました。

2 企業を育てる政策について

新型コロナウイルス感染拡大等による厳しい社会情勢の中、敦賀市の企業や商店の皆様も頑張ってくれています。「**大切なものは失ってから気付く!**」とよく言われますが、敦賀市のある商店から、「地域の人は全然お金を使ってくれないが、協賛金等のお願いに来て困っている!」といった相談を受けたことがあります。これは、行政サービスにも言えることです。例えばコミュニティバスも、利用する人が減少すると路線等も縮小され、より不便になるといった悪循環が生まれます。厳しい状況はまだまだ続きますが、市民と行政が一丸となって乗り越えていけるよう、私自身も真摯にしっかり取り組んでいきます。

原子力発電所の長期運転停止や人口減少により、収入(税収)が減少して、借金(市債)が増加している状況においても、先に述べたバラマキともとれる事業予算が多く計上されていることから、今回の当初予算案については反対しました。



新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、3月2日から敦賀市内のすべての小中学校と高校が臨時休業しています。休業が続くことで、子どもたちや保護者の皆様には大きな負担をかけてしまっています。私も市民の皆様から、たくさんのご意見やご相談を受けているところではございますが、まずなによりも、子どもたちの安心安全を最優先に市議会議員として取り組ませていただきます。今回のコロナウイルスや、リラ・レポートの問題について、**YouTube**でも自分の思いを発信しています。よろしければご覧ください。

豊田こういちレター Vol.6

2020年3月23日発行
発行責任：同志会
編集責任者：豊田耕一

子どもたちが、故郷で健やかに育っていくために!

敦賀市議会議員 **豊田 耕一**

〒914-0045 敦賀市古田川66-803-2 TEL.090-7116-9049
豊田耕一オフィシャルサイト: toyodakouichi.net
E-mail: inforu.toyoda@gmail.com
ブログ: <http://ameblo.jp/artracing>
日々の取り組みや、思いを毎日更新しています。



豊田耕一

検索